

no.382

10

2024.10.1

発行：みなと元町タウン協議会 住所：〒650-0022 神戸市中央区元町通 3-13-1 協和会館内
発行人：片山泰造 編集人：平松日出雄 電話・FAX:078-391-0831 表紙写真：中多英二

季刊

みなと元町

タウンニュース

TOWN NEWS

おっ！散歩

- 街角川柳とエッセイ -

明日の空

準備をしてる

ところですよ

詠人 喜康

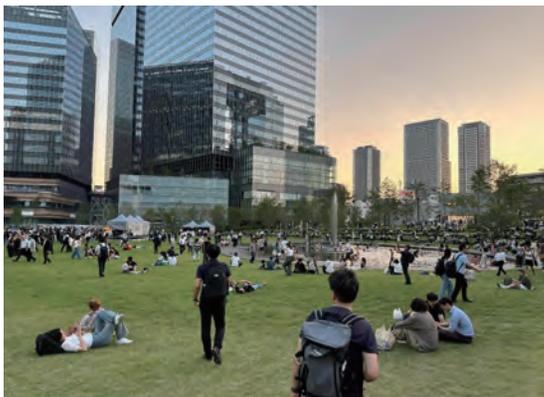
私は、"誰彼時"(たそがれどき)が好きです。彼方(あちら)から来た人の顔がなんとなくわかるような、わからないようなほんの僅かの瞬間。タンガレドキ。夜明け前の"彼誰時"(かわたれどき)と同じようなぼんやりしたタイミングかもしれないけど、私は、やっぱり、夕方の誰彼時がいいな、と思う。舞い上がった"ほこり"のような、毎日のちょっとした、いらだちや悲しみや切なさ...のようなものたちが、鎮まりながら、もう一度山の彼方に収まっていくかのようなタンガレドキ。

それらが、明日にはまた着替えて、ワクワクと楽しく嬉しいものたちになっていく、準備をしています。

潮崎孝代

まちなかで快適とを感じるスポットは？

合資会社ゼンクリエイト 根津昌彦



オープン初日の様子(友人撮影)

2025年4月13日、大阪万博開幕まであと7ヶ月を目前にした9月6日、うめきた開発第2期のグラングリーン大阪の一部が先行オープンしました。オープン初日から3日間で50万人が利用したというのが、駅直結の都市公園としては世界最大級と言われる「うめきた広場」。東京ドームとほぼ同じ面積を誇るこの広場に関しては、計画パースが示されたときから「こんなことが大阪のど真ん中で本当にできるのだろうか、できたら凄いことになりそうだ」と思っていました。

実際に足を運ぶことができたのは、9月30日、平日の昼間でした。予想以上の来場に天然芝が広がるエリアは4日目以降養生中とのこと。この日は芝刈り機が広場を縦横無尽に

走っていましたので、開放される日も近いのではと次の来訪に期待が膨らみました。水盤のある場所は噴水も吹き上がり、来年の初夏以降はものすごい数の子どもたちで賑わっている光景が目に見えました。

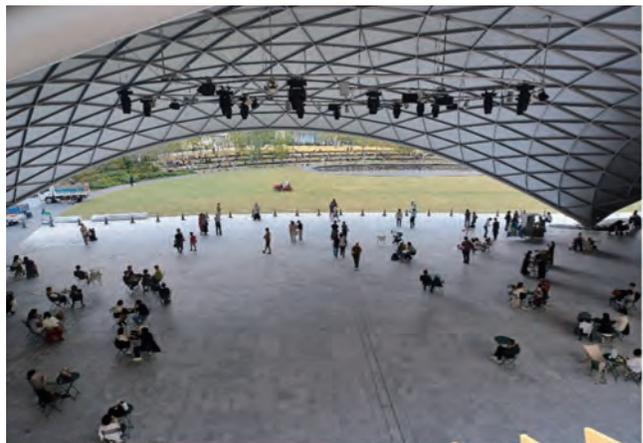


筆者撮影(以下5枚含む)



養生中エリアの外周部は、遊歩道が楕円状に3周し、そこには人が座れる段差が設けられており、芝生広場と水盤の向こうに広がるグランフロント大阪南館、JR大阪ステーションビル、グラングリーン大阪、大きな曲面の大屋根、さらにその向こうに7月31日に開業したイノゲート大阪などを目に移しながら、たくさんの人がゆったりとした時間を過ごしていました。大屋根の下にも、テーブルと椅子が無造作に配置され、思い思いに流れる風を感じながら、心地よい休息を楽しんでおられました。ビルをつなぐデッキや屋内のロビーにも日よけや座れる場所が多数設えてあり、都会のど真ん中でこんなに無料で腰掛けられる場所があるところって、日本で他にどこにあったらうかと思うぐらい、うめきた開発は「快適に座れる空間づくり」にかなり力を注いでいることを感じました。

新型コロナ以降、仕事場や仕事時間の管理に関する考えが日本でもかなり柔軟になってきた今日、こうした街なかで快適に座れる空間を増やしていく取り組みは、多くの市民に受け入れられ、利用者からも好評を得て、ますますニーズが高まっていくものと思われます。前回号で紹介したJR神戸駅D51前の広場化や旧・居酒屋源べい跡で整備されるポケットパーク、さらにはきらら広場の再生など、みなと元町タウンエリアにおいても、「快適に座れる空間」が向こう2～3年で一気に増えていきます。現在のまちづくりのトレンドともいえる市民が集まり憩える場づくり。その先に求められるのは、利用者の手でいかに快適な状態を維持できるようにしていくか。管理のマンパワー集めや使い手のモラル向上に向けた取り組みも、並行して進めていかねばと思った次第です。



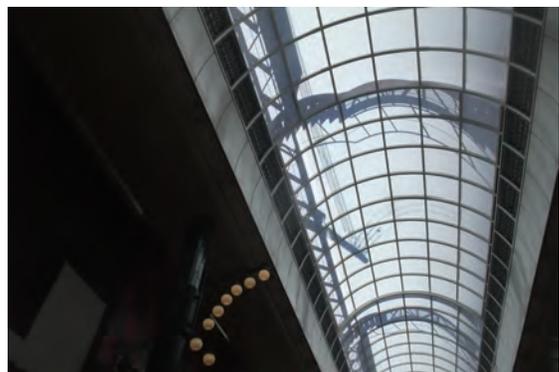
ぶ・ら・ぶ・ら・ん・こ・か！

本屋さん巡り

宮崎みよし みよしプランニング

小学校は、諏訪山小学校に通っていましたが、何故か家は長田区にありました。いわゆる越境入学です。まだ小学生だった私には理解出来ないところが多々ありましたが、現実として一人でバスや電車に乗って1時間近く登下校していました。

道中の景色の一つに元町商店街がありました。おぼろげながら、いろいろな感じの本屋さん、お菓子屋さん、洋服屋さんなどがあり、それぞれ個性豊かであったのを覚えています。今日はこの本屋さんで本を探そうと寄り道し、本を選んだのでした。はしごするのもまた楽し、というのが元町商店街の歩き方でした。でも、だんだん本屋さんも少なくなり、はしごする事も少なくなりました。これからもワクワクしながら元町商店街1番街から6丁目まで歩きたいものです。



鉄の教会

米原慶子 神戸松蔭女子学院大学人間科学部 准教授 / Ks Architects・夙川アトリエ主宰

前号まで「みなと MOTOMACHI ケンチクさんぽ」と題して、(公社)日本建築家協会近畿支部兵庫地域会のメンバーを中心に、順次3年間の連載をさせていただきました。

今回から新企画として、建築の設計や都市計画を専門とする私たちが知っている、まちかどの建物に関する「ケンチクばなし」を順次書いていきたいと思えます。それぞれの建築に込められた思いや工夫、地域との関わりなどのエピソードをご紹介しますので、みなと元町のまちづくりに、何か少しでもお役に立てればと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今回は御影の山手にある「鉄の教会(神戸新生バプテスト教会)」という、約20年前に夫の木村博昭と共に私が設計に携わった小さな礼拝堂をめぐるお話をご紹介します。



「鉄の教会」がある鴨子ヶ原2丁目交差点の角地には、もともと3倍ほどの敷地に牧師住宅と併設の小さな礼拝所がありました。アメリカの教会本部の撤退方針によって牧師が去り、売却されることになりました。残された信者たちは、信仰の場と長い年月をかけて育んできたコミュニティの場を存続させたいと、自分たちの寄付金で元の敷地の一部を買い取り、再建することを目指しました。

私たちはその建築設計の相談を受けたのですが、厳しい資金難のため、通常の方法では再建は困難だと思われました。そこで信者、設計者に有志学生を加えたミーティングを重ね、再建を可能にする道筋を模索しました。

そして様々な支援プログラムを計画、実行することで資金難を乗り越え、ミニマムな教会建築を実現することができました。

設計者の私たち両方が大学教員でもあることから、大学院生参加の設計ボランティア、他校の協力も得てのベンチ学生コンペ+制作ワークショップ、外構・造園ワークショップなどを行い、既存床材を再利用し、妻壁のガラスブロックは、寺社の瓦寄進のように多くの賛同者からご寄進いただきました。

そして建築計画・工法の面では、「プリミティブ=原初的」をコンセプトに、無駄を削ぎ



落としながら、祈りの場にふさわしい空間を目指しました。傾斜地の半地階は鉄筋コンクリート造の集会室、上階の礼拝堂は、壁と屋根を一体的に9mmと16mm厚の鉄板の加工部材を組み合わせたシンプルな構成としました。家型の片側の屋根と壁をへの字型の鉄板パーツとし、車両で運搬可能なサイズに分けて工場で作成。現地で組み合わせることで建設コストを抑え、外側を遮熱塗料で仕上げ、自然光や自然換気を極力取り入れながら、空間を構成しています。

面材の9mm厚、リブの16mm厚の鉄板は造船にもよく使われる素材で、躯体・内外装材として信頼性が高く、切断や曲げなど、わずかな造形操作とシンプルな加工で豊かな表情を生み出せるのも魅力です。

両妻側は、十字架型の部材が構造上の重要な役割も果たし、透明度の高いガラスブロック壁から、既存の3本の桜の緑陰が、礼拝堂内に導かれるようにしました。

このような鉄板による建築工法は、一般的ではありませんが、造船の街・神戸で、様々な有効活用できればと考えています。



クロード・モネ《睡蓮》1908年 油彩、カンヴァス
Museum Purchase, 1910.26
ウスター美術館所蔵/
Image courtesy of the Worcester Art Museum

印象派
モネからアメリカへ
ウスター美術館所蔵

会場:あべのハルカス美術館
(あべのハルカス16階)
会期:2024年10月12日(土)
~2025年1月5日(日)
時間:火~金/10:00~20:00
土日祝/10:00~18:00
*入館は閉館30分前まで
休館日:10月21日(月)、12月31日(火)
1月1日(水・祝)
問合せ先:06-4399-9050(あべのハルカス美術館)



《形而上的なミューズたち》1918年、油彩、カンヴァス カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館
(フランチェスコ・フェデリコ・チェッルターティ美術財団より長期貸与)
© Castello di Rivoli Museo d'Arte Contemporanea, Rivoli-Turin,
long-term loan from Fondazione Cerruti © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

デ・キリコ展

会場:神戸市立博物館
(神戸市中央区京町24番地)
会期:2024年9月14日(土)
~12月8日(日)
休館日:月曜日、10月15日(火)、11月5日(火)
(ただし10月14日[月・祝]、11月4日[月・振休]は開館)
開館時間:9:30~17:30(金、土は20:00まで)
*入場は閉館30分前まで
問合せ先:078-391-0035(神戸市立博物館)

読者プレゼント

観覧ご希望の方は、住所・氏名・年齢・本紙への一言を添え、本紙編集部までハガキでお申し込みください。先着順で2名の方にペア招待券をお送りします!

クリーン作戦

栄町通クリーン作戦

毎月第2金曜日午前 10 時、栄町通 6 丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。

参加企業

- けんしんサービス (株)
- 神戸市まち再生推進課
- こうべまちづくり会館
- (株) 神明 神明倉庫 (株)
- 新光明飾 (株) 佐野運輸 (株)
- 大一産 (株)
- 兵庫県信用組合 広島銀行



8月9日 (金) 14名

9月13日 (金) 13名

雨天のため、7月は実施しませんでした。

ハーバーロードクリーン作戦

* 8月・9月のハーバーロードクリーン作戦は、猛暑のため夕方 17 時より実施されました



7月3日 26名
ネットトヨタ兵庫(株)



7月3日 8名
エスタシオン・デ・神戸



7月3日 7名
神戸ベルコムメモリアルエイト



8月7日 15名
ネットトヨタ兵庫(株)



8月7日 6名
エスタシオン・デ・神戸



9月4日 16名
ネットトヨタ兵庫(株)



9月4日 7名
エスタシオン・デ・神戸

一言コメント

今年の夏は夕方からのクリーン作戦に変更しましたが、「じりじりと肌を焦がすような暑さの中」、みなさんに頑張ってくださいました。



こんなことがありました。

元栄海 6 丁目地蔵盆

元栄海六丁目自治会 会長 山端義弘



8月23日(金曜日)、24日(土曜日) 両日に元栄海六丁目自治会・元町六丁目商店街振興組合主催による地蔵盆を、今年も無事に開催し終える事が出来ました。

23日はご僧侶による法要をしていただき、大勢の方にお参り頂きました。24日は午後三時よりお下がりであるお菓子をお参りに来てくれた子供たちや大人の方々だけでお参りいただいた方、観光客の方でお参りいただいた方にもお配りしました。昨年は直前の雨で大変でしたが、今年はお天気にも恵まれました。

ご協力いただいた皆様に感謝御礼申し上げます。今後も続けて開催していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

～県庁舎建替えの早期決定を要望しました。～

みなと元町タウン協議会 事務局

兵庫県では、県庁舎のあり方について新しい働き方の推進や元町地域のにぎわいづくり等を含め、有識者や地元関係者の意見を聞く「県庁舎のあり方等に関する検討会」を本年8月から開催しています。

当協議会からは、奈良山貴士副会長が同会の①凍結した県庁舎再整備基本構想の検証等を行う「検討会」と、②元町地域のにぎわいづくり等を議論する「にぎわいづくり部会」に出席しています。

第1回検討会(8月2日)では「災害時の北側へのバリアフリー動線の整備」、第1回にぎわいづくり部会(9月6日)では、臨時タウン協議会(8月26日)で集約した「県庁舎建替えの早期決定」を要望しました。

本年度に、第2回検討会等が予定されていますので、ご意見のある方はお寄せください。



兵庫県庁舎 (兵庫県庁舎HPより)
左から1号館、2号館、議場棟、3号館